

不登校を経験したあとの ライフコース支援を考える

不登校児童生徒数は、過去最多を更新しています
不登校を経験した子どもたちにとって、学齢期を
終えたあとにどのような居場所や支援が必要か、
全国の実践事例を踏まえてディスカッション形式
で問いを深めていきます



2026

9.16 水 13:30-16:00

開催方法 オンライン（Zoomミーティング）

※開催3日前までに申込の方へURLをお送りします

対象者 子ども・若者支援に携わっている方

申込 9/10までに二次元コードよりお申し込み または、
メールにてお名前・所属機関名・メール アドレス
をお送りください。
※件名「9/16セミナー申込」としてください



保健医療系NPOでの広報経験を経て、2016年に日本財団に入職。
広報PRの視点から事業を後押ししながら、子どもの第三の居場所
事業や不登校支援事業に従事。全国約140カ所の居場所を訪れ、
社会をよりよい方向に動かそうと奮闘するNPO・行政・地域住民
の想いや活動に触れてきた。

2026年4月に『子どもの第三の居場所づくり 全国の担い手たち
にとっておきの方法』を出版。

講師 飯澤 幸世氏（日本財団）

ファシリテーター 松田 考（公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会）

お問い合わせ

札幌市若者支援総合センター（Youth+センター）

TEL 011-223-4421

FAX 011-231-2884

メール center@sapporo-youth.jp